

取材と原稿／前原政之（まきはら まさゆき）
1964年栃木県生まれ。1年のみの
編プロ勤務を経て87年23歳でフリーに。
ライター歴32年。



- 金坂** 作業療法士が集まって行う勉強会も、担当領域ごとのものや全体で行うものなど、活発に行われています。そのことを反映して、作業療法士が行う学会発表の数も、他の病院に比べてかなり多いですね。
- 黒木** 提供できる作業療法の種目も他院に比べて多いし作業をするための道具や材料の用意も豊富で、治療効果が高めやすい環境が整っていると思います。
- Q** 2013年に英国のオックスフォード大学で実施された「AI（人工知能）」が進歩しても生き残れる職業」という研究で、作業療法士は702の職種中第6位にランクされました。ちなみにその研究では、医師は15位、看護師は46位、理学療法士は90位でした。このことをどう感じますか？
- 金坂** たしかに、こちらの言葉一つ、表情一つが患者さんに影響を与える仕事ですから、AIには置き換えられないと思います。
- 中川** 作業療法士の仕事についてよく使われるキーワードに、「自己の治療的利用」という言葉があります。「あるがままの自分の特性を治療に生かす」という意味です。まさに作業療法士の個性そのものが治療に生かされる仕事であって、その意味でも人間にしかできないと思います。
- 作業療法士は、今後ますます脚光を浴びそうですね。今日はありがとうございました。**



医療法人 栄仁会

宇治おうばく病院

精神科作業療法室「OT-リボーン」

毎日の生活の中で、こんなことを考えることはありませんか？

- 体力がない
- 一日の過ごし方にメリハリがない
- 人のいる場に慣れない
- する事がないし、色々と考えてしまう
- 自分の気持ちをうまく周りに伝えたい



でも、実際に何かをしようとしても…

- やりたくなったらする…
- 朝起きれるようになってから…
- もうちょっと病気がよくなってから…
- 今は、まだちょっと気が向かない…



まずは精神科作業療法室「OT-リボーン」へ

OT-リボーンは、入院生活の中で、作業療法を行います。作業療法とは、個別、あるいは、他の人たちとのかかわりの中で実際に「何かをする」という体験を通して、生活のさまざまな面での支援をしていくリハビリテーションの一つです。



そんな時は、まずは身体を使ってみる

ついつい、いろいろ頭で「できるかなあ」「出来ないと思うからやめておく…」と考えてしまうことも多いのですが、まずは「身体を使ってみる」と、自分でも知らなかったご自分の「できること」が見えてくることがあります。

まず定期的に OT 室に通うことから始めましょう。身体を動かすプログラムに参加したり、手芸や工芸などの趣味をみつけたりする事もできます。

担当の作業療法士がつきます

ただ、一人で頑張って始めてみる、と言うのは難しいことです。精神科作業療法室では、ご相談いただければ担当の作業療法士が、ご相談者に合ったプログラムの開始メニューを考えさせていただきます。

何かを一緒にすることから初めてみることも。相談しながら、マイペースで進めていくことも出来ます。

お問い合わせ・ご相談

tel. 0774-32-8111